

中東情勢に関する県内への影響及び県の対応状況等について

R8.9.15

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
総務部	私立学校等	△:今後のさらなる価格高騰に懸念がある。	○:燃料等の必要量は確保できている。	・6月定例会において、以下の助成事業を予算化。 ①私立学校原油価格高騰対策事業 ※7/10受付開始、9/4交付済 (各私立学校の定員内実員1名につき11,100円を助成) ②私立学校給食食材価格高騰対策事業 ※7/21受付開始、8/14受付終了 (給食1食につき、完全給食(幼稚園)48円、完全給食(幼稚園以外)81円、補食給食48円、ミルク給食13円、舎食81円を支給)	・引き続き、動向を注視していく。
	県立大学	△:今後のさらなる価格高騰に懸念がある。	○:燃料等の必要量は確保できている。	・引き続き、動向を注視。	・引き続き、動向を注視していく。
	県内35市町村	×:公共施設の光熱水費や建設資材等の単価が上昇。補正予算対応・検討の動きがある団体も見受けられる。	○:燃料の必要量は確保できている。 △:ナフサ等原油由来の資材の調達について懸念の声あり。	・毎月1日現在の県内市町村の状況をとりとまとめ、急激な悪化等が生じていないか注視している。	・引き続き定期照会等を通じて市町村の状況を把握し、対応を検討
	県庁舎	△:今後のさらなる価格高騰に懸念がある。	○:燃料等の必要量は確保できている。	・引き続き、動向を注視。	・引き続き、動向を注視していく。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
復興・危機管理部	LPガス事業者	×:元売り価格上昇に伴い消費者向けLPガスが値上がりしている。	○:LPガスの供給自体は現時点では安定している。	・6月補正予算において、LPガスを消費する一般家庭等に対して料金の補助を行うこととし、現在、実施中である。 補助対象期間 令和8年7月～9月 補助金額 1,600円(3か月分)	・国が行う物価高騰対策で、都市ガス利用者への支援が実施される場合、その対象となっていないLPガス利用者への支援も県として検討・実施する必要がある。
企画部	県有体育施設	×:各体育施設における光熱水費が上昇している。 △:今後のさらなる価格高騰に懸念がある。	○:燃料等の必要量は確保できている。	・引き続き、動向を注視。	・引き続き、動向を注視し、対応を検討する。
	交通事業者	×:燃料価格の高止まりが続いている。 △:燃料価格に対する国の支援措置がいつまで継続するか不安がある。	○:燃料については必要量が確保できている。 △:エンジンオイル、アドブルー、塗料・シンナーの供給に不安がある。	・交通事業者等に支援金を支給する事業(乗合バス1台当たり10万円、タクシー1台当たり1万5千円など)を実施。 ※令和8年7月27日に受付を開始し、8月31日に受付を終了	・引き続き、動向を注視し、対応を検討

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
環境生活部	市町村等 (指定ごみ袋・し尿処理)	×:指定ごみ袋の製造コスト上昇に伴い、業者との変更契約や、販売単価の値上げを行う自治体が発生している。 ×:し尿処理施設で使用する薬品類の単価が上昇している。	×:指定ごみ袋の安定的な供給の見通しが立たず、指定ごみ袋以外の袋を代用可としている自治体がある。 △:し尿処理施設で使用するメタノールなどの一部薬品が入手しにくい状況となっている。	・引き続き動向を注視していく。	・供給体制の安定化が課題であるが、市町村所管事業であるため、引き続き動向を注視していく。
	廃棄物処理事業者	×:取引先に値上げを打診しても、取引先からは「原材料等の価格高騰により苦慮している」旨説明され、結果、価格転嫁できない。	△:原材料等が不足するリスクがあるほか、一定の受注ロットがなければ製造しないというメーカーもあり、不安定な調達状況となっている。	・引き続き業界団体からの意見集約を行う。	・引き続き、現状把握に努めていくとともに、業界団体に対して有益な情報を提供していく。
	生活衛生事業者 (クリーニング所等)	×:燃料となる重油価格が高騰している。 ※重油価格(税込) R8年4月 154.0円/L R7年4月 125.2円/L	△:今後、燃料価格の高騰により経営が逼迫する恐れがある。	・6月定例会において生活衛生事業者のうち、燃料費の経費割合が大きいクリーニング所、一般公衆浴場に対する補助事業を盛り込んだ補正予算案が可決。 ※8/5受付開始、9/4受付終了 ・補助額 クリーニング所 60,000円/施設 一般公衆浴場 160,000円/施設	引き続き、燃料価格の動向を注視していく。
	県関係事業	×:県立劇場建設において、断熱材などのナフサ由来の建設資材に価格上昇が見られる。 ×:新最終処分場建設において、既に資材等が高騰しており、今後も高騰し続ける可能性がある。	△:県立劇場建設において、ナフサ由来の建設資材によっては、供給制限されているものもあり、必要量を確保できるか不透明な資材も見られるが、当面の間に使用する資材については確保できている状況にある。 △:新最終処分場建設において、代替品で対応できるものは対応している。	・県立劇場建設に関して、工事契約に基づく、スライド協議を実施するとともに、入手可能な代替品での対応を検討する。 ・新最終処分場建設に関して、発注者の中長期的な資金計画を精査中。	・引き続き、動向を注視し、対応を検討

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
保健福祉部	医療機関	×:全体的に価格が上がっている。	△:医療用手袋の供給について、一部医療機関より不安があるとの声を聞いている。	・国が実施する医療用手袋の放出に係る受付窓口を担っている。 購入申請件数:175件(9月2日時点)	・医療機関の要請に応じた対応を継続する。
	薬局	×:軟膏容器や投薬びんに販売価格の上昇があった。 △:今後、更なる軟膏容器や投薬びんに販売価格上昇の懸念あり。	×:軟膏容器や投薬びんに販売数量の制限や出荷遅延があった。 △:今後、更なる軟膏容器や投薬びんに販売数量の制限や出荷遅延が発生する懸念あり。	・関係団体を通じて情報収集を実施	・引き続き、動向を注視していく。
	福祉施設 (介護・障害)	△:報酬改定や物価高対策等により関連事業所の状況は落ち着いているが、価格の高止まりが続いている。	○:必要な物資は確保できている。	・引き続き、動向を注視し、必要があれば対応を検討。	・引き続き、動向を注視していく。
	福祉施設 (児童)	△:全体的に価格が上がっており、今後の更なる価格高騰に懸念がある。	○:必要な物資は確保できている。	・6月補正予算で各施設への助成を実施。	・引き続き、動向を注視していく。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
経済商工観光部	製造業	×:原油価格の上昇を受け、電気料や燃料費等について一定の影響が生じている。 ×:原材料の調達において、価格上昇の影響は続いている。	△:潤滑油、シンナー類や、ストレッチフィルム等の資材の調達について回復傾向にあるとの声がある。		
	物流・倉庫業	×:市中のガソリンスタンドの小売価格、電気代が、中東情勢の影響前から高止まりしている。 ×:包装・固定資材について、価格高騰の影響が続いている。	△:自家スタンドへのガソリン供給に一部滞りが見られる。 △:ストレッチフィルム等の包装・固定資材の調達について回復傾向にあるとの声がある。	・物価高騰による経営への影響については、相談窓口による対応や制度融資を実施 相談件数:79件(9/15現在) 制度融資:118件、25億8,200万円 保証料引き下げ補助:約5,600万円(9/15現在) ・宮城県中小企業等再起支援事業により、物価高騰等の影響を受ける中小企業等への支援を実施(受付開始:6/27)	・引き続き相談窓口、制度融資等の対応を行う。
	小売業	×:水道光熱費、燃料代の高騰による影響が続いている。 ×:プラスチック製品、包装資材等のナフサ由来製品について、物価高騰による影響が続いている。	△:プラスチック製品、包装資材等のナフサ由来製品の入手が回復傾向にあるとの声がある。	・物流事業者エネルギー価格高騰緊急支援事業により、エネルギー価格高騰の影響を受ける物流事業者、倉庫事業者への支援を実施(受付開始:8/24) ・燃油高騰に伴う観光・交通等支援事業により、燃油高騰の影響を受ける遊覧船運行事業者への支援を実施(受付開始:7/25)	・供給不安に対しては、引き続き国の相談窓口や直販スキームの取組を周知する。
	観光業	×:燃料価格の高騰による影響が続いている。 ×:アメニティ、カトラリー等について物価高騰による影響が続いている。	△:アメニティ、カトラリー等について代替品の調達により対応している。		

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
農政部	稲作等	×:肥料や資材費は上昇傾向。令和9年度用資材も値上げの可能性はある。	△:肥料→現時点では原料・袋ともに確保できているが、今後については先行きが不透明と聞いている。 △:農薬→現時点では供給できる見込みだが、今後の先行きが不透明と聞いている。	・各種農業制度資金により、物価高騰等の影響を受けた農林業者の経営再建を支援。 ・資材価格高騰等に伴う営農相談窓口を本庁及び各地方機関、計10か所に設置。	・引き続き、動向を注視していく。
	園芸	×:燃油や出荷用包装資材等の価格が高止まりしている。	△:プラスチック系資材の欠品等は発生していないものの、納品見通しが立たない資材も一部あると聞いている。	・6月定例会において可決された補正予算により、園芸用被覆資材のかかり増し経費を支援。 ・各種農業制度資金により、物価高騰等の影響を受けた農林業者の経営再建を支援。 ・資材価格高騰等に伴う営農相談窓口を本庁及び各地方機関、計10か所に設置。	・引き続き、動向を注視していく。
	畜産	×:配合飼料価格がさらに上昇し、厳しい状況が続いている。	△:一部の生産者からは、今後のラップフィルムの調達が不安と聞いている。	・6月定例会において可決された補正予算により、配合飼料に係るかかり増し経費を支援。 ・各種農業制度資金により、物価高騰等の影響を受けた農林業者の経営再建を支援。 ・資材価格高騰等に伴う営農相談窓口を本庁及び各地方機関、計10か所に設置。	・引き続き、動向を注視していく。
	農業農村整備 (建設資材等)	×:塩ビ管等の価格上昇が発生している。	△:一部の建設資材については、遅延しているが納入は可能な状況。 ○:県の既発注工事分について、塩ビ管・接着剤・FRP継ぎ手は確保済。	・工事請負契約における設計変更に係る運用の実施。	・引き続き、動向を注視していく。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
水産林政部	水産業	×:漁船用の燃料価格の高止まりが続いている。 ×:養殖資材、水産加工用資材等の価格が高騰している。	○:燃料等オイルの供給は改善されている。 ×:水産加工用の資材不足が続いている。	・6月定例会において可決された補正予算により、養殖業における生産資材や飼料等のかかり増し経費を支援するほか、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、漁業者、水産加工業者、養殖業者等を支援。	・引き続き、動向を注視していく。
	林業	○:製材品の乾燥等に使用する重油の価格は落ち着いてきている。 ×:きのこ栽培用の生産資材等の価格が高騰している。	○:燃料の必要量は確保できている。 ○:合板生産に係る接着剤の供給量の見通しが立った。	・6月定例会において可決された補正予算により、きのこ生産に要するかかり増し経費を支援。	・引き続き、動向を注視していく。
	水産業・林業関係者 (建設資材等)	×:塩ビ管等資材の価格が高騰している。	△:建設資材については、一部入手困難な状況。	・工事請負契約における、単価適用年月の変更運用等の実施。	・引き続き、動向を注視していく。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
土木部	民間工事	×:各種資材において上昇傾向や高止まりが続いている。	△:各種資材において改善傾向であり、工程に影響するような遅延は生じていない。	・令和8年9月に、民間建設工事においても資材価格等の急激な高騰に伴う設計変更を建設業法に基づき適切に実施するよう、県内の建設業関係団体へ依頼。	・民間工事を受注している建設企業が、急激な建設資材の価格高騰への対応に苦慮している。
	公共工事	【公共土木工事】 ×:各種資材において上昇傾向や高止まりが続いている。 【県営住宅工事】 ×:塗装材・シーリング材・アスファルト合材・塩ビ管・SU管等において値上がりが続いている。 【営繕設備(他部局受託工事)】 ×:防水材・塗装材・塩ビ管・保温材等の資材について、上昇傾向や高止まりが続いている。	【公共土木工事】 △:各種資材において改善傾向であり、工程に影響するような遅延は生じていない。 【県営住宅工事】 △:断熱パネルの納期が未確定。樹脂製品(塩ビ管等)、断熱材について納入に時間が掛かっている。 【営繕設備(他部局受託工事)】 ○:防水材と塩ビ管の必要量は確保できている。 △:各種塗料や高圧ケーブル、配電盤については、遅延しているが納入は可能な状況。	・「県発注工事における中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更に係る運用について」(令和8年6月29日付納局契約課通知)の運用の実施。	・引き続き、設計変更に係る運用や、工期延期等も含めた受注者からの協議等について、適切かつ柔軟に対応する。
	港湾	○:直接的な影響はほとんどない。	○:直接的な影響はほとんどない。	・中東に関連が見込まれるコンテナ貨物等の荷動きを注視。 ・6月定例会において港湾運送事業者等に支援金を支給する事業を盛り込んだ補正予算案が可決。 ※7/28受付開始、8/19受付終了 (クレーン類79,000円/台) (フォークリフト類100,000千円/台)など	・中東に関連が見込まれるコンテナ貨物等の荷動きを注視。
	空港	△:燃油高騰に起因した減便や運休は発生していないが、航空業界全体で「燃油サーチャージ」の設定・引上げが継続しており、引き続き懸念が残っている。	○:燃料等の必要量は確保できている。	・引き続き、各航空会社の動向を注視。	・引き続き、各航空会社の動向を注視。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
出納局	公共工事 (県発注工事)	県発注工事＝各部局公共工事のため記載なし	県発注工事＝各部局公共工事のため記載なし	・スライド条項の適切な運用 ・実勢価格を設計単価に反映するための運用改正(R8.5.1公告から適用) ・ナフサ由来の建設資材の代替品調達分の追加経費を設計変更の対象とする運用の開始(R8.7.1公告から適用)	・今後も事業者からの相談状況等を継続的に把握し、県事業への影響が最小限となるよう努めていく。

部局	業種 (ヒアリング対象)	影響・現状 ○…落ち着いている △…懸念・不安がある ×…影響あり		県の対応状況	課題及び今後の対応方針
		価格高騰	流通の目詰まり (供給不安・制限等)		
企業局	県上工下水道施設	×: 部品や薬品の価格が全体的に上昇している。 ×: 受注者からアスファルト資材等の変動により、インフレスライド条項に基づく、請負代金額の変更請求が1件あった。	△: 塗装を使用する製品である人孔蓋は、通常よりも約2カ月納入が遅れているが、工期への影響はなし。 △: 水質検査用用手袋やプラ製容器を使用するグリースなどは、出荷制限及び納期の長期化が発生している。	・受注者からインフレスライドの適用に関する請求があった際には、請負代金額の変更に向けて適切に対応している。 ・一部資材の調達に影響が出ているため、複数の仕入れ先の確保、代替品の検討及び確保、年間の必要数量を一括で確保することで、納期の長期化に対応している。	・今後も受注者からインフレスライドの適用に関する請求があった際には、適切に対応していく。 ・資材の調達については、引き続き、動向を注視し、適切に対応していく。
	上工下水道施設 (みずむすび)	×: ケーブルの価格高騰によるインフレスライド条項適用の協議中。	△: 薬品(凝集剤)については、2カ月程度の在庫を確保しているが、一部の調達先からは注文を断られている。 △: 重油は、停電に備え貯留タンクの80%を貯蓄しており問題はないが、調達が難しい状況にある。 △: 塗装用シンナー全般は、出荷制限及び納期の遅延が発生している。 △: 高圧ケーブルを入手できず、CVケーブルで対応。 ×: 樹脂製品や電子部品の供給不足による納期の遅延が発生している。特に一部製品の製作納期は、4ヶ月程度の遅延が発生しており工期延長見込み。		
教育庁	県立学校	△: 今後のさらなる食材価格等の高騰が懸念される。	○: 食材等の必要量は確保できている。	・6月定例会において、県立学校へ給食費の物価高騰分を支給する事業の補正予算が可決。 ※7/10受付開始、9/17受付終了	・今後の食材価格等の動向を注視しながら、学校給食の安定的な提供に支障が生じないよう必要な対応を検討していく。
	スクールバス事業者	△: 軽油の価格上昇に伴うコスト増加を懸念している。	○: 燃料等の必要量は確保できている。 △: 塗装用シンナー不足でバスの円滑な調達に不安がある。	・引き続き、動向を注視。	・引き続き、動向を注視し、対応を検討